

国内で豚熱の発生が続いています



効果的な防疫で拡大を食い止めましょう <https://jacnet.zennoh.or.jp/actuon/>

豚熱が関東で続発しています (R4.3月以降9事例発生)

発生農場では豚熱ワクチン接種前や接種した直後の子豚で発生が見られます

豚熱はワクチンを打てばかからない病気ではありません

豚熱発生を防ぐには、日ごろの飼養衛生管理の徹底が大事です！

特にイノシシなど野生動物・野鳥の侵入を防ぐことに注力しましょう！

イノシシの習性

昼夜を問わずエサを求めて活動し、味が濃く甘いものが好物です

行動範囲は2～3km四方で、定着と移動を繰り返します

♂は時には20～30km移動する場合があります

警戒心が強く臆病で人前に姿を現しませんが慣れると大胆不敵になります

学習能力が高く、エサが食べられると分かると何度も侵入を試みます

イノシシの柵くぐり抜け防止のため、柵の固定をしっかりとしましょう

季節ごとのイノシシの行動 **(冬眠はせず、年中活動しています)**

冬	春	夏	秋
発情・交尾期	出産・授乳期		性成熟

今年も猟期に入りました。農場職員、関係者が狩猟をした際は衣類・靴の交換、車両の交換・消毒を実施してから農場に入ります

各地の**野生イノシシ検査状況**(農水省webページ)をチェックしましょう

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html

豚熱感染イノシシが確認された地域は特に注意が必要です

発生農場の周辺では発生前に豚熱ウイルス陽性のイノシシが見つっています

東北地方要注意！

四国・山陰地方も要注意！



岩手県
雫石町から盛岡市、
滝沢市へ拡大
(前月より2例増加)



徳島県
北部から那智勝浦
地域へ拡大
(前月より7例増加)



島根県
岩見地域で増加
(前月から13例増加)

病原体を入れない

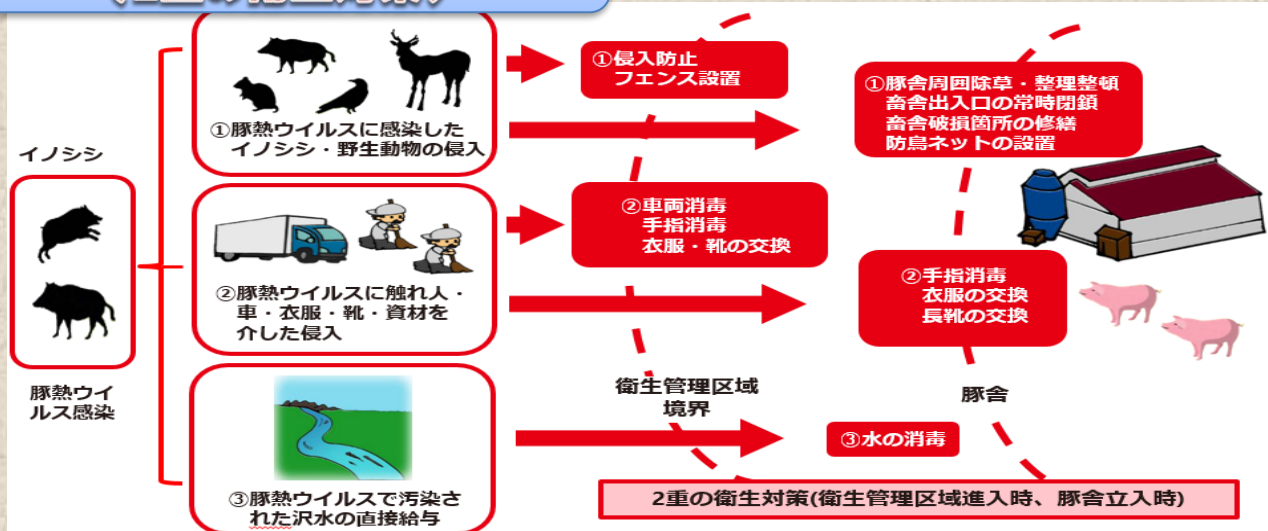
野生動物対策

1. 衛生管理区域境界部分フェンス設置
2. 農場・畜舎周囲の除草・整理整頓
3. 畜舎破損箇所の都度の修繕
4. 畜舎床面を介した雨水侵入防止
5. 畜舎、堆肥舎への防鳥ネット設置

人・車両・資材を介した持ち込み対策

1. 人、車両の立入り規制、入場履歴記録
2. 農場内に人が入る場合は手指消毒、専用衣服・靴の着用
3. 農場内に車を入れる時は必ず消毒

ウイルスの農場進入予防ポイント (2重の衛生対策)



病原体を広げない

1. 畜舎毎に専用の手指消毒薬、衣服・長靴を設置・使用
2. 畜舎毎に踏込消毒槽を設置・使用
3. 毎日の豚の健康観察と記録
4. 畜舎が空になったら必ず清掃・消毒
5. ネズミやハエを定期的に駆除

病原体を増やさない

1. 過密をさげ、適切な密度で飼育する
2. 調子の悪い個体の早期発見・対応
3. 暑すぎ、寒すぎ、換気不足、すきま風 これらを避けた良い環境で飼育する
4. 畜舎を定期的に掃除する

豚熱に効く消毒剤

種類	商品名	希釈倍数	種類	商品名	希釈倍数
塩素剤	ビルコンS	500倍～2000倍	逆性石けん	ロンテクト	500倍～2000倍
	クレンテ	300倍～3000倍		パコマ	500倍～2000倍
	スミクロール	100倍～1000倍		クリアキル100	500倍～2000倍
ヨウ素剤	クリンナップA	200倍～800倍		アストップ	500倍～2000倍
アルデヒド	グeltaクリーン	200倍～1000倍	オルソ剤	オーチストン	100倍～300倍
	エクスカット	200倍～1000倍		ゼクトン	100倍～300倍
				タナベゾール	100倍～200倍

希釈倍率	以下の量の消毒液を作るのに必要な原液			以下の量の原液で作れる消毒液の量		
	18リットル	100リットル	500リットル	100cc	250cc	500cc
100倍	180cc	1リットル	5リットル	10リットル	25リットル	50リットル
300倍	60cc	333cc	1.7リットル	30リットル	75リットル	150リットル
500倍	36cc	200cc	1リットル	50リットル	125リットル	250リットル
1000倍	18cc	100cc	500cc	100リットル	250リットル	500リットル
3000倍	6cc	33cc	166cc	300リットル	750リットル	1500リットル
5000倍	4cc	20cc	100cc	500リットル	1250リットル	2500リットル